



# あつま

3月定例会号

No. 167

平成29年5月発行

# 議会だより



第1回定例会、補正予算	2～5
平成29年度予算を認定	6～10
交流促進センター「こぶしの湯あつま」調査特別委員会報告	11
委員会活動レポート	
総務文教常任委員会	12～13
産業建設常任委員会	14
一般質問「ここが聞きたい」伊藤富志夫、森田正樹、下司義之、吉岡茂樹 4氏が問う	15～18
議決案件(賛否状況)	19～20
議会のうごき	21
スポーツ少年団(ABCあつまビーチクラブジュニアサーフクラブ)	22

# 3月定例会

第1回定例会が3月8日から16日（土・日を除く）まで7日間の日程で開催され、町長の施政方針および教育長の教育行政執行方針、行政報告が行われたほか、報告3件、同意1件、議案28件、承認3件が審議されました。  
また、会期中に予算審査特別委員会が開催され、審議の結果、全会一致で可決・認定されました。（予算については6〜10ページに掲載）

**報告第1号**  
委員会調査報告（交流促進センター「こぶしの湯あつま」調査特別委員会）

平成28年第4回定例会で付託された、交流促進センター「こぶしの湯あつま」調査特別委員会の調査結果について、木戸嘉則委員長から報告が行われた。  
※調査報告等については11ページに掲載。

**同意第1号**  
厚真町固定資産評価審査委員会委員の選任

次の者を厚真町固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意した。  
再任 畑嶋賢蔵 氏

**議案第12号**  
厚真町教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行により、新教育長の勤務規定が明記されたことに伴い、勤務時間、休日、休暇等および職務に専念する義務の免除について条例を制定した。

**議案第13号**  
厚真町農地耕作条件改善事業分担金徴収条例の制定

〔趣旨〕  
事業に要する経費について係る分担金を徴収することに必要な事項を定めた。

〔分担金の徴収〕  
町長は事業により受ける利益を受益者から受益の限度において分担金を徴収する。

**議案第24号**  
町道路線の廃止

次の1路線を廃止した。

〔路線名〕桜丘本線  
〔起点〕字桜丘221番地10  
〔終点〕字桜丘22番地

**議案第25号**  
町道路線の認定

次の1路線を町道に認定した。

〔路線名〕桜丘本線  
〔起点〕字桜丘221番地10  
〔終点〕字桜丘1番

**議案第26号**  
特別委員会の設置

次のとおり特別委員会が設置された。  
・名称 議会改革調査特別委員会  
・委員定数 10人（議長を除く全議員）  
・所管事項 議員定数、議員報酬について

**議案第27号**  
厚真町特別職の給与に関する条例の特例条例の制定について

町長、副町長の給料月額については、平成29年

4月1日から平成29年6月30日までの間に限り、条例附則第5項の規定にかかわらず、同項に定める額に、100分の80を乗じて得た額とする。  
〔理由〕  
行政報告で述べた職員の不適切な事務処理による町長および副町長の責任を明らかにするため、厚真町特別職の給与に関する条例の特例条例を制定した。

**【議案第20号】**

**厚真町こども園の設置及び管理に関する条例の一部改正**

北海道の補助制度を適用し、年収640万円未満相当（第5階層以下）世帯の3歳未満の第2子以降の保育料を無償化するため「厚真町子ども園の設置及び管理に関する条例」の一部を改正した。

保育区分	各月初日の入園児童の属する世帯の階層区分	保育料徴収基準額（月額）	
		3歳未満の児童	3歳以上の児童
長時間保育	第2階層	0円	1600円
	第3階層		4100円
	第4階層		6000円
	第5階層	13500円	8500円
	第6階層		
	第7階層		
短時間保育	第2階層		1000円
	第3階層		3500円
	第4階層		4500円
	第5階層		5300円

※条例は平成29年4月1日から施行。

# 平成28年度補正予算

※補正予算、繰越明許費とも万円以下切り捨てで記載しています。

## ふるさと寄付金推進事業（専決処分）

補正額 3235万円  
 総予算額 1億917万円

総務課財政G

ふるさと応援寄附金増加による寄附金謝礼等の支出のため。

寄附金謝礼 3031万円  
 ポータルサイト使用料 204万円

### 財源内訳

その他（ふるさと応援基金繰入金）3235万円

## 除雪対策事業（専決処分）

補正額 2700万円  
 総予算額 4700万円

建設課土木G

除雪作業の実施により除雪委託料に不足が生じたため。

### 財源内訳

町の財源 2700万円

## 車両譲渡代金償還金

事業予算額 647万円  
 総務課総務人事G

町長公用車購入に伴う債務負担行為の補正。

（北海道市町村備荒資金組合より貸付）

車両譲渡代金償還金 総務課所管公用車 1台

期間：平成29年度から平成33年度まで

元金：638万円

利子：9万円 合計647万円

### 財源内訳

町の財源 647万円

## 複合型地域福祉活動拠点運営事業

補正額 570万円  
 総予算額 1923万円

町民福祉課福祉G

複合型地域福祉活動拠点施設指定管理料に消費税分が計上されていなかったため。

### 財源内訳

町の財源 570万円

### 【質疑】

問 消費税の課税事業方法がどのようになっているか調べたか。課税事業の選択を簡易課税としているか一般課税でやっているか、これは本体の売り上げにも影響して決定されるが、それによって消費税額が変わってくる。それは認識しているか。

答 確認・認識はしていないが、NPO法人は税務署と相談しながら申告して納税したと聞いている。私どもが課税している側ではないのでNPO法人が申告した内容について説明させていただいたが、再度どのような申告をしたのか、時間をいただいて確認させていただきたい。

## 介護サービス給付費

### （介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算））

補正額 1494万円  
 総予算額 3億6878万円

町民福祉課福祉G

介護給付費の増による、地域密着型介護サービス給付費の補正。

### 財源内訳

国道支出金 588万円

その他（介護給付費交付金、介護給付費繰入金、介護給付費支払準備基金繰入金）

906万円



# 平成 28 年度補正予算(繰越明許費)

## シェアサテライトオフィス整備事業 (地方創生拠点整備交付金)

事業予算額 4685万円  
まちづくり推進課事業推進G

地方への人材+仕事+情報(技術)の流れを創出することを目的として、都市部のITベンチャー企業等をターゲットに、地方での魅力ある執務環境を完備したシェア型オフィスを整備し、常設的なサテライトオフィス、事業所の立地を促進する。

※オフィスとして旧宮の森保育園を活用するため、改修工事および施設環境周辺整備工事、通信環境整備工事等を行う。

### 財源内訳

国道支出金(地方創生拠点整備交付金)	2277万円
地方債	1850万円
町の財源	558万円

### 【質疑】

**問** お試しからシェアに移行し、さらには厚真で住宅を建ててもらい、住んでもらうという順番のような話があったが、ここに6000万円かけるということである。ITベンチャー企業が田舎で働き方を体験できるというやり方は、おそらく厚真だけではなく、いろいろなところが戦略を立て、町の生き残りをかけている。その中で、厚真で行うことのメリットをどのように来られる方たちに伝えるのか。また、厚真町は利便性もあり多様なところもあるが、どれだけの方が来られるという確信があるのか。

**答** 宮の森保育園は解体したいと考えていたが、解体するよりは、現状のまま使ってもらえる可能性があるシェアオフィスとして提供してはどうかという提案を受けた。ただ、長く使ってもらえる建物ではないし、本格的にサテライトオフィスあるいはテレワークを進めるためには、きちんとしたシェアオフィスを建てなければならない。いろいろな方々のニーズやマーケティングを調査して、最終的にはきちんとしたシェアオフィスを建てる。そのマーケティングをするためのシェアオフィスと考えていただければと思う。

また、国の補助金や財政支援を受けられ、さらに特交(特別交付税)等で措置されるの

で、そういう意味では千載一遇のチャンスである。未利用施設も含め、厚真町にいろいろな方を受け入れたり人材育成する、そういう視点では必要な政策だと思っているので、国の補助金・交付金がなくなれば厚真町の体力に合った取り組みを継続していかねばと考えている。

新しい分野の雇用を創出したいという入口なので、完全無欠の制度ではなく、自由にいろいろな方々を受け入れる受け皿づくりをまず始める。その受け皿づくりから、やがては大きな果実を得ていくという形のほうが正しい解釈だと思うし、政策展開としてはそのほうがいろいろな方々に営業しやすいと考えている。



## お試しサテライトオフィス整備事業 (地方創生拠点整備交付金)

事業予算額 1366万円  
まちづくり推進課事業推進G

地方への人材+仕事+情報(技術)の流れを創出することを目的とした都市部のITベンチャー企業等をターゲットとした誘致活動の推進のため、1週間程度の短期滞在に対応した「お試しサテライトオフィス」を増設する。本施設は、企業のテレワーク実証実験、学生のインターンシップ、起業志望者の現地調査等のほか、田舎での「はたらき方」を体験できる拠点として活用する。

### 財源内訳

国道支出金(地方創生拠点整備交付金)	666万円
地方債	540万円
町の財源	160万円

## 担い手研修農場整備事業

### 研修農場整備（地方創生拠点整備交付金）

事業予算額 1245万円

産業経済課農政G

育苗・育成ハウス（高設ハウス）・設備備品は平成29年度当初予算、土地造成（掘削、土壌の入れ替え等）、電気工事・防風ネット設置

#### 財源内訳

国道支出金（地方創生拠点整備交付金）622万円  
町の財源 623万円

#### 【質疑】

**問** 研修農場は補正予算・新年度予算合わせて9400万円の投資をすることになっている。研修農場の土砂運搬費が150万円、土砂が240万円、合わせて390万円の土壌改良をすと出ている。旧富野小学校ではなく通常の農地であれば土砂の運搬と土砂代を支払わなくていいと思うが、違う候補地がなかったのか。

**答** グラウンド部分を畑やハウス栽培に適したものにするために土砂のほ場整備で390万円かけるということで、遊休施設等を活用するということもあり、富野小学校を研修農場とさせていただいた。

## 担い手研修農場整備事業

### 研修農場管理施設整備（地方創生拠点整備交付金）

事業予算額 5945万円

産業経済課農政G

旧富野小学校校舎改修工事  
事務室および座学室兼会議室等の新設に伴う外部・内部改修、電気・機械設備工事、格納庫設置に伴う整備工事。

#### 財源内訳

国道支出金（地方創生拠点整備交付金）2610万円  
地方債 2610万円  
町の財源 725万円

#### 【質疑】

**問** 管理施設整備工事の実施計画委託料498万円の中身も精査しなければならないと思うが。

**答** 設計委託料については、平成28年度の補正予算で国の地方創生拠点整備交付金がついた。通常は設計委託をして、事業費が確定してから予算計上することになるが、今回は補正予

算ということで、設計委託料と事業費を同時に予算計上する必要があった。

国の補助金で設計等が必要だということで、設計委託料を計上している。

## 合板・製材生産性強化対策事業

事業予算額 5000万円

産業経済課商工観光林業水産G

町内の一般民有林において、今後、間伐や主伐等の作業が比較的集中して発生すると見込まれる2地区を対象に、林業専用道（規格相当）の整備を進め、森林の計画的な管理を推進するための基盤を整えることを目的とする。（平成28年度に整備を実施した林業専用道（規格相当）の延長。）

開設場所および延長

- (1) 桜丘・幌里地区（桜丘本線） 1000m
- (2) 幌内地区（幌内マッカウス線）1000m

#### 財源内訳

道支出金 5000万円

## 農業施設・林業施設災害復旧事業

事業予算額 2193万円

産業経済課農政G、商工観光林業水産G

農業施設および林業施設における災害復旧費として。

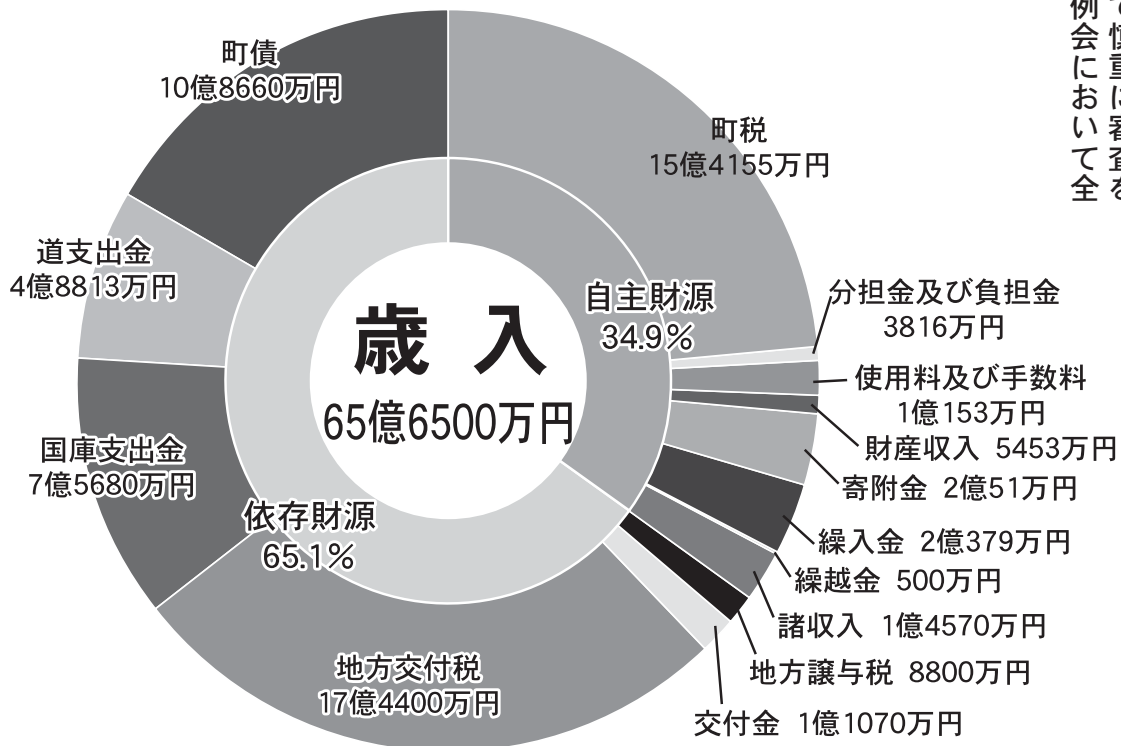
内訳：農業施設災害復旧事業 26万円  
林業施設災害復旧事業 2167万円

#### 財源内訳

国道支出金 1681万円  
地方債 490万円  
町の財源 22万円

# 平成29年度予算

平成29年度各会計歳入歳出予算は、3月9日  
 の5日間、町議会に設置された予算審査  
 特別委員会（吉岡茂樹委員長）で慎重に審査を  
 行い、3月16日開催の第1回定例会において全  
 会一致で可決・認定されました。



※万円以下は四捨五入

## 【別表】（交付金）

交 付 金	利子割交付金	50万円
	配当割交付金	120万円
	株式等譲渡所得割交付金	100万円
	地方消費税交付金	9200万円
	自動車取得税交付金	1400万円
	地方特例交付金	100万円
	交通安全対策特別交付金	100万円
	合 計	1億1070万円

（予算内容）

今年度の予算額は、一般会計・特別会計総額で95億1670万円と、前年度当初予算より約5億円減（-5%）の予算が計上されました。

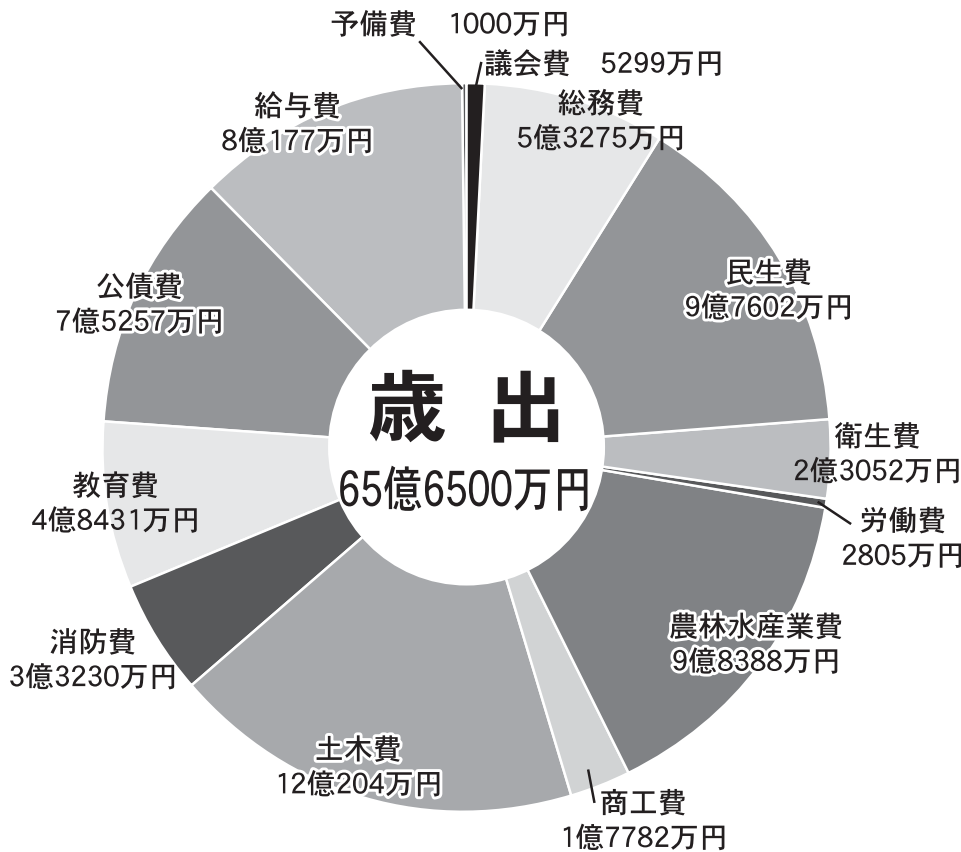
一般会計は、青果物集出荷貯蔵施設整備事業や上厚真中央公園整備事業、高齢者共同福祉住宅建設事業、農業担い手研修農場整備事業等の施設建設による積極的投資で、前年度比9.3%増の65億6500万円となりました。

また、特別会計は、簡易水道事業等の減少により、前年度比26.4%減の29億5170万円となりました。

# 各会計総予算 95.1 億円 !!

簡易水道関連事業等減少 (- 26.4%)

一般会計総額 65 億 6500 万円



特別会計総額 29 億 5170 万円

※万円以下は四捨五入

会計名	予算額	対前年比(%)	
国民健康保険事業	7 億 1970 万円	△ 6.2	
後期高齢者医療	8500 万円	17.9	
介護保険事業	保険事業	5 億 640 万円	7.2
	介護サービス	1740 万円	△ 10.3
簡易水道事業	14 億 2000 万円	△ 42.3	
公共下水道事業	2 億 320 万円	△ 6.6	

## 基本目標・施策に基づく主な予算

「人が輝くあつま」	子育て、学校教育、社会教育等の充実、生涯スポーツの振興	7 億 276 万円
「健やかで安心なあつま」	高齢者福祉・介護、社会福祉、障がい者福祉、保健・医療の充実	8 億 6230 万円
「みのり豊かなあつま」	農業・林業・水産業の振興、観光・交流のまちづくりの推進	11 億 5507 万円
「快適に暮らせるあつま」	都市基盤の充実、環境保全の推進、住環境確保・定住促進、消防・防災の強化、防犯・交通安全対策の強化	29 億 6902 万円
「みんなで支えるあつま」	住民自治の推進、健全な行政運営の推進	9 億 5559 万円



# 平成29年度主要な新規事業予算(抜粋)

## 公共施設等総合管理事業

事業予算額 666万円  
総務課研修防災G

公共施設等の適正管理・景観配慮を目的として、未利用施設の除去および施設周辺の整備を実施する。

財源内訳  
町の財源 666万円

## 庁舎周辺整備基本構想策定事業

事業予算額 200万円  
総務課研修防災G

庁舎周辺の公共施設に係る、建替・改築に要する事業期間や費用、周辺道路環境整備を含めて、国の財政支援措置等の財政状況を考慮した庁舎周辺整備基本構想の策定。

財源内訳  
町の財源 200万円

## いきいきサポートサロン整備事業

事業予算額 7351万円  
町民福祉課福祉G

平成30年4月1日に入居開始予定の高齢者共同福祉住宅と同一敷地内に「いきいきサポートサロン(仮称)」を併設するため建設工事を行う。

財源内訳  
国道支出金 2800万円  
地方債 4550万円  
町の財源 1万円

## 小規模多機能ホーム「ほんごう」整備事業

事業予算額 480万円  
町民福祉課福祉G

利用者サービスの向上を目的として、既存の汚物処理室を改修し、車いす対応トイレを増設するため改修工事を行う。

財源内訳  
町の財源 480万円

## 総合福祉センター整備事業

事業予算額 3754万円  
町民福祉課福祉G

高齢者や障がいのある方が安心・安全に総合福祉センターの利用ができるようエレベーターを設置する。

財源内訳  
地方債 3750万円  
町の財源 4万円

### 【質疑】

問 福祉センターは3回改築しているが、なぜ今エレベーターを設置するのか。また、将来改築の時に撤去するといったことはないか。

答 改築の都度エレベーターは話題になっていたが、特定財源がなく町民からの要望もなかった。過疎債が使えることや障がい者・高齢者が2階の部屋を利用できるよう、また、施設の備品の移動を考え、今回設置を提案した。

問 福祉センターは、音響設備や可動式客席等、他にも検討することがあるのでは。

答 音響設備等は最低限の改修はしている。可動式客席は、規模により建物の改修が必要になる。庁舎周辺整備、一部分の改修とともに考え、検討したい。

## 子育て支援事業

事業予算額 1730万円  
町民福祉課子育て支援G

子育てに係る事業を統合し、妊娠・出産・子育てについて切れ目のない子育て支援を図ることを目的とする。

財源内訳  
国道支出金 235万円  
その他(ふるさと応援基金繰入金) 1400万円  
町の財源 95万円

### 【質疑】

問 第2子からの支給だとどのくらいの差が出るか。これから子どもが減っていくことを考えると、考えていく必要があるのでは。

答 第2子からの支給を想定した人数は把握していないが、結構な人数になると思う。妊産婦の通院費補助や子どもの保育料・医療費の還元等、十分な支援をしていると考えている。子育て支援事業は現物給付のサービス充実を考えており、当面は人的サービスを含め、給付型のサービスを充実させたい。



# 平成29年度主要な新規事業予算(抜粋)

## 子育て世代包括支援センター開設準備事業

事業予算額 434万円  
町民福祉課子育て支援G

妊娠・出産から育児に至るまで、切れ目のない子育て支援に取り組む「厚真版ネウボラ」を推進するため、平成30年3月までに「子育て世代包括支援センター」の開設を目指す。

### 財源内訳

その他(エンゼル基金繰入金) 400万円  
町の財源 34万円



## バイオマスエネルギー利活用推進事業

事業予算額 225万円  
産業経済課商工観光林業水産G

農業系残さや家畜糞尿等をバイオガス化して利用する場合に発生する消化液の処理方法の検討が必要のため、農地へ散布し作物の生育状況の把握や作業時の問題点等を調査する。また、バイオマス資源を用いたバイオガス発生試験の実施や、バイオマス資源の回収方法について調査し実用性を検証する。

### 財源内訳

国道支出金(地域づくり総合交付金) 112万円  
町の財源 113万円

### 【質疑】

**問** 相当な経費がかかると思うが採算性は。このような事業に取り組むには慎重になったほうがよいと思うが。また、実験・調査をする中で地域に雇用が生まれるのか。

**答** 今回はバイオガスプラント建設ありきではなく、ガスが発生するのか、稲わらを回収できるのかといった基礎調査から始めている。回収量・発生量・採算性を考慮し、最終的な決定をしなければならないため、確実な実験・調査に取り組んでいきたい。また、最終的な目標としてのバイオガスプラントができれば、関連した産業・雇用が生まれると思う。

## 担い手研修農場整備事業

事業予算額 2236万円  
産業経済課農政G

新規就農希望者等の受け入れおよび基礎的研修体制を強化するため、旧富野小学校を活用した町立の研修農場を整備するとともに、グラウンド等に技術研修用の栽培ハウスやほ場を整備し、実践研修農場として活用し、新規参入等による移住・定住促進を専門的・総合的に行う新規参入希望者受入拠点施設として整備する。

### 財源内訳

国道支出金(地域づくり総合交付金) 680万円  
その他(北海道農業公社助成) 200万円  
町の財源 1356万円

## 農業担い手育成センター管理運営事業

事業予算額 503万円  
産業経済課農政G

「農業担い手育成センター」を新たに設立し、研修農場の整備運営や研修体制の充実を図るとともに、就農時の農地等の確保や施設資材に係る支援体制を整備する。

### 財源内訳

その他(生產品売払収入および研修負担金) 94万円  
町の財源 409万円

## 青果物集出荷貯蔵施設整備事業

事業予算額 4億1910万円  
産業経済課農政G

そ菜の集出荷・貯蔵施設を上野の農業施設団地に集約することにより効率化を図るとともに、馬鈴薯(ジャガイモ)については他産地の出荷ピークとなる市場性の低い時期を避け、自然冷熱を活用しながら貯蔵を行うことにより付加価値を高め、生産者所得の向上および作付面積の拡大を図ることを目的に、JAとまこまい広域が行う施設整備に対し支援を行う。

### 財源内訳

国道支出金 1億7500万円  
地方債 2億4400万円  
町の財源 10万円

# 平成29年度主要な新規事業予算(抜粋)

## 民間賃貸共同住宅等建設促進事業

事業予算額 1940万円  
建設課建築住宅G

賃貸共同住宅を建設する者に対して、予算の範囲内で補助することにより、民間資金の活用による賃貸共同住宅等の建設を行い移住・定住化の促進を図ることを目的とする。

### 財源内訳

町の財源 1940万円

### 【質疑】

問 28年度の決算見込で何戸入居できるようになったか。また、従来の共同住宅があるのに、新たに2棟建築する必要があるのか。

答 1棟10戸建設され、リフォームは16戸整備されている。事業について問い合わせがあり、2棟分の予算を計上した。移住・定住の促進、住環境の整備ということで、新築と住宅のリフォームを取り組みたい。

## 上厚真中央公園整備事業

事業予算額 1億3510万円  
建設課土木G

上厚真パークゴルフ場の隣地に多世代の地域住民が供する公園の整備を行う。

### 財源内訳

地方債 1億3400万円  
町の財源 110万円

## 厚真川親水公園整備事業

事業予算額 1785万円  
建設課土木G

市街地周辺地区の駐車スペースの拡充を図るべく、厚真川親水公園に駐車場を整備する。

### 財源内訳

その他(地域振興基金繰入金) 1700万円  
町の財源 85万円

### 【質疑】

問 地域振興基金を繰り入れ整備する必要があるのか。

答 市街地の駐車場が減少するので、その代替として考えている。現状を考え、応急的に厚真川親水公園で対応したい。

## 防災気象観測システム整備事業

事業予算額 990万円  
総務課研修防災G

現在、役場周辺に設置されている気象観測システムを活用し災害対策を行っていたが、地域による気象変化の違いが大きく、山間部の降雨量等の把握が困難であった。近年の大雨災害の激甚化により土砂災害の危険性が高まっていることから、新たに気象観測システムを2カ所設置し、災害対策の強化を図る。

### 財源内訳

国道支出金 600万円  
町の財源 390万円

## 青少年センター整備事業

事業予算額 2300万円  
生涯学習課社会教育G

青少年センター内のプラネタリウムの機器更新を行う。

### 財源内訳

その他(ふるさと応援基金繰入金) 2300万円

### 【質疑】

問 現在設置しているプラネタリウムの機器は、取り外した後どのように活用するのか。

答 土台は撤去するが、上部の機器は青少年センターのシンボルとして展示する。

## スポーツセンター・スタードーム整備事業

事業予算額 997万円  
生涯学習課社会教育G

平成7年に建設したスタードームは、設備の一部に経年劣化が生じているため、劣化の著しい膜屋根の点検・修繕および暖房温水配管の改修工事を実施する。

### 財源内訳

その他(公共施設維持補修基金繰入金) 900万円  
町の財源 97万円



# 交流促進センター「こぶしの湯あつま」

## 調査特別委員会報告

平成28年第3回定例会において、議長を除く全議員（10名）による、交流促進センター「こぶしの湯あつま」調査特別委員会（委員長 木戸嘉則／副委員長 大捕孝吉）が設置されました。

2月21日まで5回にわたって開催された委員会では、交流促進センター「こぶしの湯あつま」に係る①施設運営の方向性、②施設の改修、③周辺環境整備について調査が行われ、各委員からさまざまな意見が出されました。

調査結果については、平成29年第1回定例会において木戸委員長から報告が行われました。



### 調査報告総括

①厚真町交流促進センターの設置目的を今後も推進していくべきである。なお、推進にあたっては、町及び関係団体、指定管理者の業務分担を明確にし、細やかな協議や連携強化を図ること。

②常にお客様目線に立ち、コスト削減や工夫・改善に努めた管理・運営を行うこと。

③改修を早急に行い、経営改善や利用者増・収益増を図ること。改修にあたっては、動線の見直し等や利用者ニーズを鑑み、最少経費で最大効果が得られるよう努めること。

④周辺施設等と連携し、交流促進センターを核とした周辺環境整備を行うとともに、防災拠点としての位置付けについて検討を行うこと。

⑤その他、本特別委員会で出された意見等を十分検討の上、今後の施設運営等に当たること。

### 主な意見 (抜粋)

施設運営の方向性について

#### 【施設のあり方】

・こぶしの湯建設当初の目的や厚真町交流促進センター条例第1条に規定している設置目的の「都市住民との交流」、「産業の振興」、「住民福祉の増進」については、今後も推進していくべきである。

#### 【施設の運営方法】

・運営企画は行政（町又は観光協会等）が行い、指定管理者と常に協議できる体制の確立（町又は観光協会職員（常駐）を検討し、町又は観光協会等と指定管理者との連携強化を図

ること。

・割引制度の充実・確立（町民家族割引、高齢者割引、いも堀り観光やパークゴルフなどの観光客割引など）をし、町民や町外者の利用増を図るべき。（割引差額については町の助成を検討する。）

施設の改修について

・大規模改修前は、当面、必要最小限の改修と老朽化部分の修繕、美装をして利用者増を図るべき。  
・休憩室で気軽に飲食できるシステム（食券自販

機・注文呼び出しチャイムの設置等）を検討すべき。

周辺環境整備について

・防災拠点施設とした場合、災害時の迂回路確保のため、リハビリセンターの道路に繋がるバイパス路の設置を検討すべき。

・除雪センターを早期に移転するよう取組み、こぶしの湯と一体的な土地利用の検討をすべき。

#### その他

・グリーン・ツーリズムの推進及び農林水産省が推進する「農泊」（農山漁村滞在型旅行）と連携した事業を検討・計画しては。





# 委員会 レポート

## 総務文教常任委員会

委員会は1月24日、下記の事件について現地調査および事務調査を行い、その結果を第1回定例会に報告しました。

### 【現地・事務調査】

**教育委員会所蔵の昆虫標本、絵画の管理保存・活用状況について**

#### 「現在の状況」

#### ◆昆虫標本

購入時は、文化祭で展示していた。平成11年より毎年7月から8月（夏期休業中）に「世界の昆虫展」を開催している。過去3年間の来場者は、625人となっている。

標本の管理は、格納庫内に暗室・常温状態で保管しており、毎年防虫剤の取り替えと動産総合保険への加入を行っている。年間維持費は保険防虫等を含め4万3000円となっている。

#### ◆ループル絵画（複製画）

昭和63年4月から平成3年10月まで、青少年センター2階ロビーにおいて展示を行ったほか、学

校への貸し出しを行った。平成3年11月26日、青少年センターに町民ギャラリー（2階建）がオープンし、以後常設展示を行っていたが、平成13年5月に図書スペース拡充のため、町民ギャラリー1階部分を教育委員会事務所に変更したことに伴い、常設展示は中止した。



#### 【主な質疑】

問 ループル複製画を町民や町外の方に見せるために、どこかに展示をしていくような考えはないか。  
生涯学習課 有効利用の観点から定期的に学

校等に案内をして、貸し出しも当然検討する必要があると思っている。

**厚真地区児童会館の施設状況（放課後児童クラブ含む）の活用状況について**

#### ◆今後の方針

放課後児童クラブは、登録率や利用状況等を踏まえると、量的ニーズは十分に満たしている。今後は、他の家庭教育・子育て支援・社会教育関連事業との連携をさらに深めつつ、指導員の人材確保・育成に努め、クラブ運営の質の向上を図っていく。

#### 【主な質疑】

問 先生方とコーディネーターは、どのように位置付けられているか。  
社会教育G主幹 役割については、学校や放課後子ども教室、家庭・地

域団体との調整、その他児童クラブの中身の充実をするため担っている。

厚真地区放課後児童クラブ利用状況

(平成28年4～12月)

区分	おひさまクラブ (1～3年生)	(4～6年生)
平日平均	41人 (62.1%)	23.2人 (43.7%)
土曜平均	11.5人 (17.4%)	5.9人 (11%)
登録数	66人	53人
児童数	68人	78人
登録率	97.1%	67.9%
厚真地区計		
平日平均	64.1人 (53.9%)	
土曜平均	17.4人 (14.6%)	
登録数	119人 (総児童数146人・登録率81.5%)	

**厚真地区児童会館の活用状況について**

◆開設時間・利用方法、定期利用団体および利用状況

詳細については、別枠のとおり。

#### 【主な質疑】

問 厚真地区児童会館の建て替えについて、構想の中に活用団体の活動も見込んだ計画が必要ではないか。  
副町長 適切な活動場所が確保できれば、時には場所を変える必要になるかもしれないが、団体の先を考えながら施設の計



画を検討したい。

### 認定こども園つみきの運営状況について

#### ◆名称・認可年月日

#### ①名称

厚真町こども園つみき

#### ②認可年月日

平成24年4月1日

#### ◆保育方針と保育目標

#### ①保育方針

◆認定こども園としての成果  
①幼稚園機能を加えたこと  
②従来の子育て支援G、役場閉庁時は役場当直で鍵の貸出・返却を行う。  
③施設の拡張、教材教具の整備によって、設定保

- 「遊びの中でやる気と知恵と心を育む」
- ②保育目標
- 楽しく遊ぶ子
- 明るくやさしい子
- 根気のある子
- 創造力豊かな子
- 個性が輝く子

### 厚真児童会館の開設時間・利用方法

**開設時間** 午前9時～午後10時まで

**休館日** 日曜日、国民の祝日

12月31日～1月5日まで

**利用方法** 利用希望者は事前に使用許可申請書を提出し、使用許可書の交付を受ける。役場開庁時は子育て支援G、役場閉庁時は役場当直で鍵の貸出・返却を行う。

**使用料**

午前9時～正午まで	1570円
午後1時～午後5時まで	2100円
午後6時～午後10時まで	2410円
全日	5250円

※厚真町児童会館条例第3条第1号各号に掲げる団体については、使用料を徴収料しない。

### 厚真児童会館の開設時間・利用方法

団体名	申請人数	利用日時
厚真流水館(剣道)	10人	毎週月曜日 18時～20時30分
厚真町民吹奏楽団	20人	毎週火曜日 19時～21時30分
厚真郷芸保存会(太鼓)	20人	毎週水曜日 18時～21時
塊打太鼓	5人	毎週木曜日 19時～21時
ピュアダンスサークル	8人	毎週金曜日 18時30分～21時

果園児数が増加した。このことは、厚真町の待機児童数ゼロの維持と本町の「子育て支援」重視の視点からも成果があったと考えられる。

④「開かれたこども園」や「教育」の視点から、積極的に地域の人材を活用し、大きな成果を得ている。(体育あそび・えいごだいきり・米づくり・しめ縄づくり、やさいづくり・料理体験、交通安全教室など)

⑤幼稚園機能が加わることで、小学校就学を意識した意図的な保育教育活

動が工夫されるようになり、小学校との連携で、小1ギャップの解消にも寄与している。



#### 【主な質疑】

問 保育園に入っていない子はいるか。

町民福祉課長 待機児童数はゼロである。保育園は0歳児から入れるが、保育に欠けない子は入っていないので、人数は把握していない。

#### 厚真子育て支援センターの活用状況について

#### ◆名称・開設時間・配置職員状況

①名称 厚真子育て支援センター(こども園つみきに併設)

②開設時間 9時～17時 月曜日～金曜日(11時30分～13時 除く)

③配置職員 嘱託保育士1名、臨時補助職員若干名

#### ◆運営状況

子育て不安等についての相談指導、子育てサークルの育成・支援、ボランティアの育成、地域活動事業。

#### 【主な質疑】

問 厚真・上厚真の子育て支援センターの職員体制は。

副町長 嘱託・正職員等にこだわらず、臨機応変に一定の子育ての知識・技術等があり指導できる人材を確保したいと考えている。

# 委員会 レポート

## 産業建設常任委員会

委員会は12月28日に所管事務および現地調査を行い、その結果を第1回定例会に報告しました。

(事務調査2件、現地調査2件より抜粋)

### 子育て支援住宅建設事業について

#### ◎事業の概要

苫小牧市、千歳市など近隣市町で働く子育て世代をターゲットに、厚真地区および上厚真地区において優良住宅を供給し、移住促進並びに定住人口の増加、厚真町全体の活性化を図ることを目的とする。

### 主な質疑等

#### 上厚真きらりタウン子育て支援住宅について

問 28年度建築の5棟の内覧会を行ったが、何世帯の参加があったか。

建設課参事 12月17日に行い、6組16名の参加をいただき、3組の方に申し込みをいただいている。

問 町営住宅はオール電化となっているが、故障などの対応はどうか。

建設課参事 町では平成13年から公営住宅にオール電化で設備を取り付けているが、故障の場合は修理、取り換えを行っている。

問 支援住宅を建築する際に、道産材を使っているか。

建設課参事 道産材は、今回の支援住宅には使っていない。

### 表町地区子育て支援住宅について

問 メゾネット型の支援住宅との説明であるが、中身について詳しく説明願いたい。

建設課参事 メゾネット型の住宅というのは、1棟が2層になっている住宅。例えば、1階の玄関を入って居間などがあり、2階部分には寝室などの

部屋がある配置となっている。

問 上厚真地区は一戸建ての平屋住宅だったが、表町はメゾネット型で建てる予定だが、なぜ2階建てにしたのか。

建設課参事 市街地での建設なので、広い土地がなかったこと、1棟5戸団地として整備をしなければ建築補助対象とならなかったため。

問 子育て住宅の性格から、2階建ては、子どもの階段の上り下りなどで親が目配りが十分にできない可能性があると思うが、対策は検討しているのか。

建設課参事 設計段階では、階段の居間の部分では柵等を設け、目配りしやすいような形の住宅、部屋の構成を考えて整備したい。

問 地質調査のためのボーリング調査費が盛り込まれているが、近くの

公営住宅のデータを使うことはできないのか。

建設課参事 今回の整備事業で、補助事業であるためにボーリング調査も必須事項となっている。

問 建設予定地が道道に面しているが、通路をどのように取り付けるのか。

建設課参事 子育て支援住宅なので、住んでいただく子どもたちの安全環境・駐車場の整備・駐輪場・花壇などを含めて検討している。取付道路は、町営住宅側の町道へ取り付ける予定である。

問 農業支援員、林業支援員向けの子育て支援住宅を市街化調整地区に建設することはできないか。

建設課参事 市街化調整区域では、基本的に建設はできない。今後の町の住宅施策として、農業担当部署、まちづくり部署とも連携を取りながら検討していきたい。



上厚真きらりタウン子育て支援住宅



## 子どもの貧困

### 入学準備金の支給時期の早期化を

**答** 次年度から入学前の支給実施を検討

伊藤富志夫 議員

町長 貧困率は、正確な子どもの数あるいは世帯の数を拾ってみたい。実態調査の実施は、十分に研究して対応するかどうかを決める。

教育長 入学準備金の支給時期については、平成30年度の入学予定者に援助ができるかどうか準備し、実施方法について前向きに検討させていただく。

問 子どもの貧困対策の推進に関する法律ができ取り組みが進められているが、厚真町の「子どもの貧困率」は、また、実態アンケートを取り組んでどうか。  
就学援助の入学準備金は現在6月支給だが、入学前支給はできないか。また、現在の支給項目にPTA会費・クラブ活動費・生徒会費を追加できないか。さらに、生活困窮家庭の高校生に対し、修学旅行費の支給ができないか。

PTA会費および生徒会費については29年度から実施するが、クラブ活動費は見送る。修学旅行費については、今のところ支援する考えはない。

## 地産地消

### バイオマスエネルギーの利用促進を

**答** バイオガスを含めて研究する

町長 厚真町は7割を超える森林がある。この環境で、資源としての観点とエネルギーとしての観点から木の活用を考える。

問 昨年9月の町長所信表明で「循環型社会の形成において、森林資源はその中核を担うものである」といわれたが、具体的にどのような試みを考えているか。  
また、エネルギーの地産地消をまちづくりの視点として持ち、これから計画される施設改修や新築計画の際にバイオマスエネルギーの利用促進を考えてはどうか。

(こんな質問もしました)  
JR問題について、町長の取り組み姿勢を問う。

公の施設では、地元の木材資源を活用したバーベキューハウスや宮の森子ども園等を取り組んだ。エネルギーでも循環させる取り組みを考える。  
28年度の利活用戦略で総資源量、経済ベースに合うか等の調査・研究を進めた。29年度は、バイオガスも含めて、農産物の二次セルロース、稲わら等、どの程度取り組めるかを研究する。



ペレットストーブ



## 一般質問

ここが聞きたい

## 人事評価

# 人事評価制度の成果は

**答** 外の目から見ても評価をして  
いただきたい



森田正樹 議員

**問** 平成19年の国家公務員法改正により人事評価制度が導入された。本町も数年前から管理職を対象に行っており、一般職についても平成28年度から実施されているが、今まで管理職で実施された人事評価に当たり、その成果が行政にどう生かされているのか。

**町長** 平成22年4月から、管理職の勤勉手当への処遇の反映を含め運営している。平成28年4月から導入した一般職人事評価も、職務を執行するに当たり、発揮した能力および上げた業績を把握した上で行われる勤務成績の評価と定義され、処遇等への反映も視野に入れたものである。

導入した結果として、現在、どの程度の効果が町民の皆さんにお返しすることができているか、外の目から見ても評価をしていただかなければならない。

## 運行体制

# スクールバスを完全に民営委託する 考えはあるか

**答** 直営と民営委託の併用が最善である

**問** スクールバスの運行について、近隣町村はほぼ民営か指定管理で行っている。本町も現在、一部民営と直営の形で行っているが、今後、全面的に民営委託する考えはあるか。

81万円と試算され、平成27年度決算では、人件費を含めて479.8万円と、コスト的に現行の直

営と民営を併用した運行体制が、当面の間最善である。

**教育長** スクールバスの運行状況は、直営4路線と民間委託4路線で、小・中学校の校外活動や中学校の部活動の大会、また、社会教育団体等の参加者送迎は直営のスクールバスで対応している。

過去、平成27年度以降における全路線を民営委託してどうか試算した結果、直営の4路線を民間委託して全路線で60



スクールバスで登校する児童



## 一般質問

ここが聞きたい

### 観光振興

## 農泊の取り組みを

### 答 グリーンツーリズムに係る ビジネスを育てていきたい

問 国では農山村の所得向上を実現する上での重要な柱として、農泊を位置づけ、インバウンドを含む観光客を農山村にも呼び込み活性化を図ることが重要という考えである。

厚真町でも修学旅行生の受け入れを行っているが、なかなか受け入れてくれるところが増えない状況である。  
農泊に取り組むことに

より、本町が推進しているグリーンツーリズムを取り巻く諸課題の改善にもつながると思うが。

町長 厚真町では、これまで芋掘り観光や田んぼのオーナー、ハスカップ狩りなど、地域資源を活用した体験型サービスを提供しているが、滞在型としては不十分である。

一般旅行者を受け入れるための農家住宅や古民家を活用したファームイン、ファームレストランを営んでいただけの人材の育成や誘導が必要と考えている。都市計画法など関係法令上の基準改正も視野に道などに働きかけるなどして、グリーンツーリズムに係るビジネスを育てていきたい。

下司義之 議員



## 道路の整備

## 「苫小牧厚真通」の全線開通は

### 答 総合開発期成会の重点事項に昇格した

育、防災などは中心市へのアクセス道路の環境改善が重要である。

事故多発区間等は積極的な改善の働きかけが必要であり、一刻を争うような事態に備え、都市計画道路「苫小牧厚真通」の全線開通が熱望されるが。

町長 「苫小牧厚真通」は昭和57年に都市決定計画され、平成21年を境に苫小牧地方総合開発期成会の国、道に対する要望書

に項目として挙げさせていただいた。しかし、各市町から2項目となっている最重要項目に昇格するのは非常に難しい。理由は、豊川橋から柏原までの約6キロのほとんどが苫小牧区域ということにある。

なお、現状の豊川線は非常に危険な状況だといえるのは認識しているので、道に対して歩道延長や道路線形の改良を要望していきたい。

問 本町は東胆振1市4町による定住自立圏の中心市である苫小牧市と相互に役割を分担し、連携を図りながら住民が安心して暮らせることを目的とした共生ビジョンを策定し、各種事業を展開している。

特に、医療、福祉、教



苫小牧厚真通 (位置図)

## 一般質問

ここが聞きたい

## 農業振興施策

# 新規就農者の住宅確保について

## 答 責任ある町の対応をする



吉岡茂樹 議員

問 本町で農業を目指している農業支援員などが独立した場合には、農地・農業施設・農機具・住宅の確保、これらが最低限リンクしていなければ農業支援員として募集しても農業振興・移住・定住・地域コミュニティのスキームが出来上がらない。

新規就農者は、地域に密着した農事組合活動、自治会活動を続けることによつて良好な人間関係を作らなければならない。そこで、市街化調整区域内に子育て支援住宅の建築ができないか。

町長 都市計画法上、市街化調整区域には子育て支援住宅などは建設できない。しかし、都市計画法の規制緩和・土地利用上の規制緩和については、苦小牧圏都市計画の見直しを図りたいと準備を進めている。

新規就農者等の住宅確保に向け、研修農場の設置を踏まえ、農業担い手

センターと空き家対策推進協議会、これらの機関との連携、自治会・農事組合との調整を図りなが

ら、空き家住宅を有効に活用していける対策を、資金面を踏まえ考えていく。

## 交通安全対策

# 道道の交通安全対策を望む

## 答 必要な場合は適正な措置を講じる

問 道道上幌内早来停車場線と道道夕張厚真線の丁字路交差点の交通安全上の対策について、現地は、松浦橋付近の丁字路交差点であり、高丘地区より幌内線へ出るためには、冬期間は凍結した緩い下り坂、雨が降ると舗装道路に雨水が流れ、道路幅も狭い。

左側の視界を確保するためにハビウ川と道道の間にある小山の掘削、厚真町記念物第7号指定の松浦武四郎記念碑の移転など、町として、地域の交通安全確保のためにで

きることはないか。

町長 道道を管理する北海道も十分に認識されており、松浦橋を中心とした対策を講じたいと準備を進めている。

支障物件として町が移動できるもの、移動を命じられるものについては

人命の安全を優先する観点から進める。しかし、前提としてそれらの支障物件がどの程度

支障があるのかを現地調査させていただく。

教育長 松浦武四郎公の記念碑については、功績を後世に残す趣旨から、今後は記念物の維持・補修を含め、責任を持つて行っていく。



松浦武四郎の碑

## 定例議会の議決案件（賛否状況）

平成29年 3 月 8 日（水）

議案番号	議 件 名	賛 否
同意第 1 号	厚真町固定資産評価審査委員会委員の選任	同意全員
議案第12号	厚真町教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定	賛成全員
議案第13号	厚真町農地耕作条件改善事業分担金徴収条例の制定	賛成全員
議案第14号	厚真町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の廃止	賛成全員
議案第15号	厚真町へき地保育所条例の廃止	賛成全員
議案第16号	厚真町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第17号	厚真町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第18号	厚真町特別職の給与に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第19号	厚真町税条例の一部改正	賛成全員
議案第20号	厚真町こども園の設置及び管理等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第21号	厚真町国民健康保険条例の一部改正	賛成全員
議案第22号	厚真町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	賛成全員
議案第23号	債権の放棄	賛成全員
議案第24号	町道路線の廃止	賛成全員
議案第25号	町道路線の認定	賛成全員
承認第 1 号	専決処分の承認（平成 28 年度厚真町一般会計補正予算（第 11 号））	承認全員
承認第 2 号	専決処分の承認（平成 28 年度厚真町一般会計補正予算（第 12 号））	承認全員
承認第 3 号	専決処分の承認（平成 28 年度厚真町一般会計補正予算（第 13 号））	承認全員

平成29年 3 月 9 日（木）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第 7 号	平成28年度厚真町一般会計補正予算（第14号）	賛成全員
議案第 8 号	平成28年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	賛成全員
議案第 9 号	平成28年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第 3 号））	賛成全員
議案第10号	平成28年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	賛成全員
議案第11号	平成28年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	賛成全員
議案第 1 号	平成29年度厚真町一般会計予算	予算審査特別委員会へ付託
議案第 2 号	平成29年度厚真町国民健康保険事業特別会計予算	予算審査特別委員会へ付託
議案第 3 号	平成29年度厚真町後期高齢者医療特別会計予算	予算審査特別委員会へ付託
議案第 4 号	平成29年度厚真町介護保険事業特別会計予算	予算審査特別委員会へ付託
議案第 5 号	平成29年度厚真町簡易水道事業特別会計予算	予算審査特別委員会へ付託
議案第 6 号	平成29年度厚真町公共下水道事業特別会計予算	予算審査特別委員会へ付託



# 定例議会の議決案件（賛否状況）

平成29年3月16日（木）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	平成29年度厚真町一般会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第2号	平成29年度厚真町国民健康保険事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第3号	平成29年度厚真町後期高齢者医療特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第4号	平成29年度厚真町介護保険事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第5号	平成29年度厚真町簡易水道事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第6号	平成29年度厚真町公共下水道事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第26号	特別委員会の設置	賛成全員
議案第27号	厚真町特別職の給与に関する条例の特例条例の制定	賛成全員
議案第28号	平成28年度厚真町一般会計補正予算（第15号）	賛成全員

## 議会を傍聴しませんか

定例会は、毎年3月・6月・9月・12月に行われます。臨時会は、審議する案件が緊急のときなど、必要に応じて行われます。

どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、定例会・臨時会とも、議会ホームページで議会の様子を生中継していますので、インターネットでもご覧いただけます。

### ■厚真町議会ホームページ

<http://www.town.atsuma.lg.jp/gikai/>

### ■問い合わせ先

厚真町議会事務局

☎ 27 - 2485







## スポーツ少年団紹介

## ABCあつまビーチクラブ

## ジュニアサーフクラブ

紹介者：指導者 宮下 桂さん

「ABCジュニアサーフクラブ」は、厚真町でのサーフィン・スケートボードの普及と、それらを通じた子ども達の健全育成を行う団体として平成28年に発足しました。

「サーフ&スケート」という新しいライフスタイルを提案・発信するとともに、厚真町にサーフィン文化・スケボー文化を根付かせることを目指し、定期練習会、検定会、競技会参加、浜厚真ビーチクリーンなど、1年を通じてさまざまな活動を展開しています。

発足当初は、さまざまな困難や課題もありましたが、地域の方々のご理解とご支援により、練習環境も着々と充実しつつあり、子ども達は目覚ましい成長を遂げています。将来的には、厚真出身のプロサーファー、プロスケーター、オリンピック選手の輩出も視野に、今後も普及・育成活動を展開していきます。

今年は、スポーツ少年団に加入し新たなスタートを切ることになっており、田舎まわりでのスケートボードショーなどを通じて、子どもたちの練習成果や横ノリスポーツの魅力を皆様にお見せできることと思います。

まだまだスタートしたばかりの団体ですが、厚真町ならではの活動として末長くご支援・ご声援をお願いいたします！ 体験や見学も受け付けています。

- ◆平成28年設立
- ◆代表指導者 丸山 聡史
- ◆団員数 17名
- ◆活動日
  - サーフィン  
7～10月の土・日で波の良い日
  - スケートボード  
7～10月：水、金  
11～翌6月：水、金、日



## 「議会だより」は私たちが編集しています

「あつま議会だより」は、年4回、各定例会後の翌月（または翌々月）に発行しています。編集作業は、議員6名と議長（オブザーバー）で構成される「議会広報特別委員会」で行っており、議会や各委員会、議員の活動などをお知らせしています。

今後も、わかりやすく、読みやすい広報紙づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

### ◇議会広報特別委員会

委員長 井上次男

副委員長 伊藤富志夫

委員 森田正樹、高田芳和、吉岡茂樹、三國和江  
オブザーバー 渡部孝樹



委員会の様子